Central Group for life

せんとらるライナー 10号

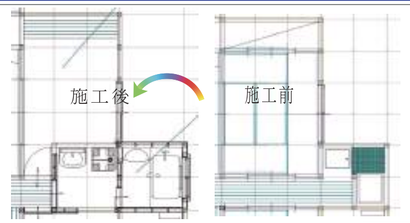
2010年10月号
…毎月1日発行…
セントラルグループ
恵那市大井町1202-4

快適な生活を目指して

A様邸の場合

中津川市内のA様邸で先月半ばに改修工事を拝命いたしました。A様は介護保険こそ利用しておられないものの、やはり年齢を重ねると共に、日常の生活に不便を感じるようになられた、ということで今回の改修工事を決断されました。

今回の工事では、既存の浴槽が狭くて深く、入浴の際に不便であるということから、既存の浴室と脱衣室を合体させて一つの浴室を作り、廊下と廊下に面した和室の一部を改修して新しく脱衣室を設けました。



新設された脱衣室は、外部に面していないため、採光こそ取れませんが、その分温度変化が少ないのでヒートショックの危険性が低くなっています。先月号で紹介したヒートショックの危険性を考え、温度のバリアフリーも考慮しました。

またお話を伺っていくうちに、和室と廊下の敷居の段差を解消するために、廊下にヒノキの無垢板を貼り増しました。ただ、柱などの色との調和を考えて、白木の板にオスモワンコートオンリーという天然素材塗料で仕上げました。

この塗料は古民家再生工事などでも使用される塗料で、植物油と植物ワックスを主成分としているため、ホルムアルデヒド等の発散もなく、シックハウスの心配もありません。

車椅子対応の洗面化粧台

ヒノキの無垢板　オスモワンコートオンリー仕上

既存の脱衣室。浴室との境が無く狭小だった。

築30年の集会所を…

また、元起町自治会の集会所の改修工事も同時期に拝命し、外壁の貼替えや床の全面改修等の工事を行いました。

建物については築30年以上が経過したものであったため、地盤が沈下した影響で、東石が最大で6cmも下がっており、床が傾いている状態でした。（写真参照）

これらを解消するために、浮いた床束を長いものに差し替え、フローリングも新しいものに貼替えました。

また集会室として利用されていた洋室と、隣の和室を一体化し、広く使用していただけるように改修しました。このほか、既存の屋根の上にもう一枚屋根を被せること（カバー工法）で断熱・保温力を増し、また外観も綺麗になりました。

交換した床下地

6cmも下がった束石

新築であれば自由に設計して、思い通りのものを作ることが出来ますが、費用面や土地の問題等があり、全ての建物が新しく建て替えたり出来るわけではもちろんありません。

そんな中で、こうしたリフォームは、既存の建物の構造上、取外しの出来ない柱があったり、床を解体してみたらシロアリが食っていたりと制約やイレギュラーな出来事も多々ありますが、思い出の詰まった家を生かしながら、少しでも快適に過ごせるように工夫したり、予算や工期に合わせて施工範囲を決められたりというような融通さも持ち合わせています。

また、今までの不満をプラスに転じさせていくという楽しさ・面白さもあります。

なにより現代では常にエコを考えていかなくてはならない時代になってきています。スクラップアンドビルドではなく、再生我が家。

ご自宅の不満や不安点を見つけたらお気軽にご相談ください。

（住宅事業部・木藤）

介護の現場から　シリーズ -9-

Kanekuコーポレーション　LifeCare ライフケア

施設探訪

高齢者福祉施設
ら・じょわ中津川　編

中津川市茄子川の高台に建つ「ら・じょわ中津川」。そこからのロケーションは素晴らしい。眼下の坂本地区の街並みの向こうには恵那峡ワンダーランドの観覧車が見え、その奥には笠置山と二つ森山。さらに遠くにはあの御嶽山が窺える。そんな景色のなか、自動扉をくぐると明るい職員さんの挨拶に圧倒される。カウンターの奥の事務所の方、移動中の方、利用者さんの手をとりながら歩いている方、車いすを押している方、書類を抱えている方、誰もが訪れる訪問者に笑顔で元気良く挨拶される。ロケーションといい笑顔といいまるで旅館にでもきたような錯覚に陥りそうな感じである。

暖かな雰囲気の正面玄関

そんな「ら・じょわ中津川」を訪れると、唄声が聞こえる。ここらは音楽療法士4名を中心に『音楽療法』に取り組んでいる。懐かしい童謡・唱歌を歌うことで呼吸が深くなり1／fというゆらぎの波長が脳にはたらきかけ感情や情緒を安定させる。それが臓器を安定させて血液の流れを良くし健康に一役かっているばかりでなく、歌に合わせて体操したり楽器を振ることで自然に身体を動かす動作となって心身ともにリフレッシュできるのである。

そして、さらに驚かされるのが『天然ラジウム温泉』のお風呂である。この温泉に含まれるラジウムやトロンは空中に拡散し吸入効果で血液中に溶け込み気管支系に効能があると言われている。そして入浴や泉飲することで体内に取り込まれるとガンマ線を出すことで療養効果が期待できる。この天然ラジウム温泉は、「ら・じょわ中津川専用のタンクローリー車で毎日恵那峡パーク温泉から運ばれ加水なく入れ替えられている。さらに運ばれる方は職員さんであり普段は利用者さんを介助されている方のため、気持ちいいお風呂に入ってほしいとの想いも一緒に運んでいるそうである。

また、「おいしい食事は生活のなかでとても大切な要素」との考えをもとに『手作りの食事』を提供しており、利用者さん一人ひとりに合わせた調理法（カロリー、塩分、水分制限、ミキサー食、キザミ食など）を行っている。さらに季節を感じて楽しんでもらおうと季節や行事にあわせて彩りいい料理の工夫もされている。その上こちらのデイサービスセンターでは夕食も提供されているため帰宅後に食事の心配もなく後はくつろいで寝るだけである。

今回の探訪で、紹介させていただいた「高齢者福祉施設ら・じょわ中津川」さん。こちらは『ショートステイ』『デイサービスセンター』『居宅介護支援センター』から構成されており、「景色、もてなし、温泉、食事、安心」まさに『要介護者が気軽に行ける癒し的旅館風リゾート施設』と感じた探訪であった。

お問い合わせは、「ら・じょわ中津川」高橋さんまで。

TEL0573-68-8294

天然ラジウム温泉を運ぶタンクローリー車

（ライフケア事業部・川嶋）

お問い合わせ

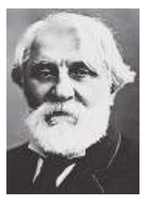
サービス内容	メニュー	お電話番号	担当者	部署	会社名
土木建設資材	コンクリート製品・塩ビパイプ・グレーチング・フェンス・カーポート	0573-26-1811	安保	営業部	Kanekuコーポレーション kaneku.com info@kaneku.com
介護に関するご相談	在宅介護や介護保険制度について		田中	ライフケア事業部	
福祉用具レンタル	ベッド・車いす・手すり・スロープ・歩行器・リフト		川嶋		
福祉用具販売	ポータブルトイレ・入浴補助用具・自助具		市岡		
介護用リフォーム	手摺・バリアフリー工事・福祉住環境コーディネート		今井		
砂販売	ゴルフ場用バンカー砂・園芸用砂・土木建設用洗い砂	0573-68-2527	伊藤	営業部	恵那峡サンド
リフォーム	キッチン・トイレ・お風呂・外壁・塗装	0573-26-4114	田口	住宅事業部	セントラル建設株式会社 central1961.com info@central1961.com
建築工事	新築・増改築・耐震・店舗・事務所		木藤		
エコ住宅工事	太陽光発電・オール電化(エコキュート・IH・エアコン)		長谷川		
土木・舗装工事	宅地造成・アスファルト舗装・上下水道・コンクリート工事・排水工事		長尾・水野・前田	営業部	
外構工事	エクステリア・ガーデニング・車庫まわり				
せんとらるライナーに関して	記事についてのお問い合わせ 紹介したいお店、人、カタログ請求		木藤	せんとらるライナー編集局	

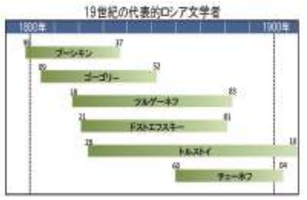
読書尚友 ～読書をして昔の賢人を友にすること～

古典六十選　…グループ代表阿部伸一郎…

10/60 「はつ恋」 ツルゲーネフ 1818～1883

我が国においてロシアは決して好かれている国ではない。しかし、文学となると異なる。プーシキンに始まりゴーゴリー、ツルゲーネフ、ドストエフスキー、トルストイ、チェーホフと続く十九世紀のロシア文学は大人気だ。今回のも含め数冊しか読んだことがないがロシア文学には日本人受けする何かを感じる。その何かが何であるかは、私には答えられないが、この六名は次々と影響を受け続けた一本線に近いものがあると言う。ツルゲーネフはモスクワ大学在学中にゴーゴリーの講義を受け、キャンパスでは時折プーシキンを見かけたと云う。そしてトルストイの書いたものをヨーロッパに紹介している。そんな感じで繋がっているのだろう。ロシア文学は一様に写実主義と云えよう。私の拙い理解では、写実主義とは現実を模写しながら物語を創作してゆくもの。題材のネタとなるのは実際に自分の身に起きたこととなる。つまりリアリズム小説である。我が国では島崎藤村、国木田独歩、田山花袋のような超リアリズムとも云える自然主義派が存在した時期があるが、彼らがプラノ歌手のポリーヌ・ガルシアと言うスペイン人であった。ツルゲーネフは、ロシア公演に来ていたポリーヌに一目ぼれしてしまった。彼女には夫も子供も居たがツルゲーネフは、辞め彼女を追っかけパリに移り住んだ。しかも、彼女の家に。そして、彼女にのぼせ上がっていたのはツルゲーネフだけではなく複数の男が彼女の家に出入りしていた。やがて、彼女は舞台から引退するとドイツの保養地バーデンバーデンに居を移り、また数年後に晋仏戦争が起きると今度はイギリスへと逃れた。ツルゲーネフはバーデンバーデンのときもイギリスのときもその後を追って彼女の隣に別荘を買い求めた。


ツルゲーネフ



最も影響を受けたのがツルゲーネフであった。

この『はつ恋』が上梓されたのは1860年、今から丁度150年前である。あるパーティー終了後、残った仲間数名と初恋話を打ち明けることになった。四十代でまだ独身の主人公ヴラジーミルの番になったが彼の初恋はとても世間並みのものではなかった。口頭ではうまく伝えられないとノートに記して、二週間後に読んで聞かせることになった。

イワン・ツルゲーネフは1818年、ロシア中央部の大地主の次男として生まれた。母は由緒定かでない家の出であったが、おじから広大な領土と五千人の農奴奴を相続した女地主であった。性格は傲慢でヒステリック。父は貴族の出身だったが当時家運が傾きかけていたため財産目当てで結婚した。母より六つ年下のクールな伊達男。ツルゲーネフが十六歳のとき四十二歳で亡くなった。少年ツルゲーネフは勉学に優れロシアの大学では飽き足らずベルリン大で哲学や古典を学んだ。二十五歳のときに生涯に大きな影響を及ぼすことになるひとりの女性と出会った。彼女は、著名なソプラノ歌手のポリーヌ・ガルシアと言うスペイン人であった。ツルゲーネフは、ロシア公演に来ていたポリーヌに一目ぼれしてしまった。彼女には夫も子供も居たがツルゲーネフは、辞め彼女を追っかけパリに移り住んだ。しかも、彼女の家に。そして、彼女にのぼせ上がっていたのはツルゲーネフだけではなく複数の男が彼女の家に出入りしていた。やがて、彼女は舞台から引退するとドイツの保養地バーデンバーデンに居を移り、また数年後に晋仏戦争が起きると今度はイギリスへと逃れた。ツルゲーネフはバーデンバーデンのときもイギリスのときもその後を追って彼女の隣に別荘を買い求めた。

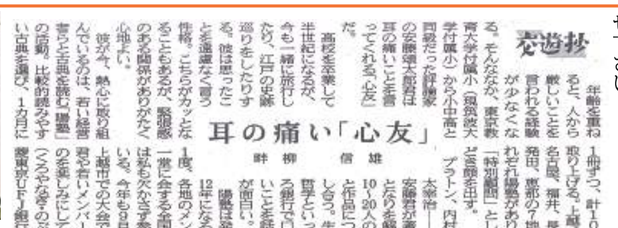
にわかに信じがたい様な話であるが、これが『はつ恋』を上梓した頃までの彼の半生である。今一度、ロシア文学は一応に写実主義であることを思い出して頂きたい。小説内の諸々のシチュエーションからこの半生との関連が読み取れる。「文章で読む風景画」とも称されるツルゲーネフなら「はつ恋」では華麗な風景描写を背景にヴラジーミルことツルゲーネフが自ら「とても世間並みのものではない」と語った初恋を読み解いていただきたい。

読書尚友のタネあかし

毎号知ったかぶりの「読書尚友」ですが、実は「陽塾恵那」で学んだことをまとめているに過ぎません。その「陽塾」が日経9月16日号の「交遊抄」に載りました。塾に興味がございましたら私なり、編集局木藤までお気軽にお問い合わせ下さい。

三菱東京UFJ銀行会長（陽塾特別顧問）畔柳信雄氏

陽塾主宰者・安藤頌太郎先生


交遊抄

年齢を重ね、1冊ずつ、計100冊を数えて、人から敬ひてゆる、上梓、高山、敬いことを名言録、発問、東郷の7地域にそれぞれ陽塾があり、私もが少なくなる、東京教育大学付属小（現筑波大学付属小）から小中高と同級だった評論家の安藤頌太郎先生は耳の痛いことを言ってくれる「心友」だ。

高校を卒業して半世紀になるが、今も一緒に旅行しなら、江戸の史跡巡りをしたりする。彼は思ったことを遠慮なく言う性格。こちらがカッとなることもあるが、緊張感のある関係がありがたく心地よい。

彼が今、熱心に取り組んでいるのは、若い経営者と共に勉強（ベンキョウ）会の結成。比較的読みやすい古典を選び、1カ月に1度、各地のメンバーが一堂に会する国内会合には私も欠かさず参加している。今年も9月18日の上越市での大会、安藤君と若いメンバーに寄つの会をしみじみしている。（くろやなぎ・のぶお＝三菱東京UFJ銀行会長）

耳の痛い「心友」　畔柳信雄

せんとらるライナー 一日車掌&乗務員室

野球チーム 「オールセントラル」結成

この度、セントラルグループは軟式野球部を結成。チーム名は「オールセントラル」。「せんとらるライナー」と言い「オールセントラル」と言いどこかで聞いたような記憶が…。

このオールセントラルの主力選手であり、監督を務めるのが横地和久48歳。横地は中京高校野球部出身。一年の時から背番号を獲得、二年でショートのレギュラーポジションをつかむ。夢であった甲子園出場は残念ながらあと一歩のところで涙を飲んだ。横地の生涯の思い出は東邦高校戦と大府高校戦。東邦戦では甲子園準優勝投手のバンビこと坂本投手から一安打、大府戦では後にジャイアンツのエースとなる槙原から二安打した事。

さて、その横地率いるオールセントラルの初陣は、第31回中日旗争奪恵那市民ナイター野球大会。しかし、横地以外のメンバーは野球をするのは十年、いや二十年ぶりという者が大半。今年は「参加することに意義あり」と言ったところかも知れないが、選手のみならず全社一丸となって頑張る所存だ。

住まい／土岐市駄知町
所　属／セントラル建設工務部
勤　続／5年
趣　味／野球、サッカー、ゴルフ、つり
伝　言／家族に感謝

横地　和久（打者）

せんとらるStation待合室

下の二つの（　）の中に同じ桁数の数字を入れて式を完成して下さい。

（　　）×（　　）＝12345654321

この問題はある中学で出題された算数の入試問題です。
試験会場に電卓は持ち込めません。
電卓なしで解いて下さい。

せんとらるライナー　食堂車

『キッチン風』

森の中にポツリと存在するお店。家庭料理をかしこまらない雰囲気で、と言うのがモット一。一番の売りは風景。店名は風景の「風」から。オーナーの伊藤さんは五年間和食を修行し2005年に「キッチン風」をオープン。季節に応じて一週ごとに変わるランチは一日20食のみ。コーヒー付1100円。出来れば予約をするのが望ましい。夜は、完全予約制で四名様より3500円から。朝9時から夕方6時までは喫茶店としてオープンしている。また、無料のギャラリーもあり絵画・写真・陶器などが毎月展示されている。

恵那市武並町藤萩久保488-1
0573-28-3179
営業時間　9:00～18:00
モーニング　9:00～10:30
ランチ　11:30～13:30
18:00以降は予約のみ
月曜日定休

『だいどこ　やぶれ傘』

古民家を改装したタ多治見駅近くの人気店。従業員は全員が女性。昭和の雰囲気がお店のコンセプト。食材は新鮮な地産地消がモットーだが、全国の珍しい食材も集め豊富なメニューが並ぶ。仕込みはなんと午前10時から。多治見と言う土地柄、器は美濃焼き作家のものを揃える。陶芸家のたまごから人間国宝までがお店の常連。全61席、コの字型のカウンターとテーブル席からなる。テーブル席のみ予約可能。

多治見市本町2-43-3
0572-23-7408
営業時間
17:00～24:00
毎水曜日と第二日・月定休
予算目安　3,000円